

令和7年度 北小学校 グランドデザイン

＜学校経営ビジョン＞

○仲間・学校・地域の支えやつながりの中で、人とつながり、新しい社会を創造していく力をもった 子どもを育てる学校

○めざす教師像
自己をふり返り同僚とともに学び続ける教師

学校教育目標

「花とみどりと笑顔の学校」

10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造

＜保護者・地域の願い＞（学校評価アンケートより）

- 子どもたちが自ら進んであいさつする学校
- 子どもたちが仲良く・楽しく・安心できる学校
- 自分で考えたり判断出来たりする力を育む学校
- 地域の素材・人材とふれあう活動ができる学校

よくふれあい



人やものとかかわろう

多様な人や様々なものと直にかかわり合うことをとおして、子どもたちは相手に対する関心や愛着を深め、信頼感を構築していく。そのことが人と人がつながって新しい社会をつくっていく力の源となる。

○あいさつの響く学校づくり

人とかかわりのスタートである“あいさつ”を大切にするために、「5つのあいさつ」（おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう、ごめんなさい）を大切にします。

○子ども同士でかかわりあい、笑顔あふれる北小をめざす児童会活動

- ・笑顔あふれる北小をめざすために全校でかかわり合う活動を大切にします。
- ・子どもたちのアイデアを生かした活動や「児童会祭り」を計画・実行します。

○「地域の様々な方々とかかわり合う場」の確保

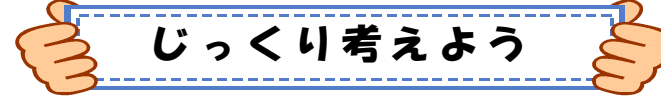
- ・共に学びあう「北小学校応援団」との連携を図ります。
- ・外部講師の指導によるクラブ活動を実施します。（4・5・6年生）
- ・地域社会と関わる職業体験学習を行います。（5・6年生）

○地域と共にある学校づくりの推進

- ・「学校運営委員会」を活性化すると共に、『コミュニティルーム』等を活用した大人の学びと子どもの学びのつながり・北部まちづくり協議会との連携を図っていきます。



よく学び



じっくり考えよう

「基礎学力」をつけるとは、目を輝かせ、喜びをもって心身を躍動させるエネルギーを育てる事である。学力とは、自ら学ぼうとする意欲の強さである。

探究的な学習を重点にして、子どもたちの基礎学力の向上をめざします。

○心から思いや意見を表出したい学習展開

～自ら出し合った問いを大切に、進んで解決する気持ちを高めよう～

○これまでの学びを活用・発揮できる学習過程

～これまでの学びで身につけてきたことを活用・発揮して、学ぶことの楽しさを感じよう～

○多様な他者とかかわりあうことができる学習環境

～子ども同士や地域の方々とかかわりから、表現することの面白さや喜びを分かち合おう～



よく遊ぶ



たくさん遊ぼう

遊びは生きる力の源、子どもたちの生活そのものである。遊びをとおして創造性を磨き、自己や友だちの尊厳に気づき、生きる意欲と活力を培う。

○水曜日は『ハッピータイム』思い切り遊びます！

水曜日は清掃をなしとして、30分間存分に遊び込むことができる「ハッピータイム」を設定します。外遊び・かかわり遊びを推奨し、遊びを通じて、友だちとのよりよいかわりを体得します。



＜一人ひとりに応じた支援＞

- なかよし学級 ○ことばの教室
- まなびの教室 ○日本語教室
- 心の相談室 ○保健室
- ～全児童を全職員で育てる支援～



＜子どもを支える地域＞

- 「フラワーロード」花壇づくり ○職場体験学習 ○外部講師によるクラブ活動
- 学校応援団とともに学ぶ場 ○読み聞かせボランティア「このゆびとまれ」
- 地域防災学習 ○授業づくり研修会への参加



＜子どもを支えるPTA活動＞

- PTCA作業 ○おやじの会
- 北小まつり ○親子チャレンジ

